



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

2022年
11月号
2022.11.5発行
第248号

あたらしい仲間(なかま)をしょうかいします。



リージャル ガイル パビドラ
(ネパール)



ガイレ スミクラ
(ネパール)



スエ ジン ウー
(ミャンマー)



レレ ウィン マウン
(ミャンマー)



シャー イーミン
(中国)



オウ ブンケツ
(中国)



イン ジツ
(中国)



ムハマンド ヒルミー ムハンジブ
(インドネシア)

中川先生のへんてこ日本語

フォームの始まり 店内で販売中

146



筆者がいつも利用するJRの駅前を通りかかると、「○○駅までの切符は店内で販売中、数量限定、店内でどうぞ」と、チケットショップから呼び込みのアナウンスが聞こえてくる。このアナウンスに、いつも首を傾げながら通り過ぎていく。いわゆる「体言止め」のスタイルで、広告文や警告文、新聞の見出しなどによく現れる。

「××キャンペーン開催中」「緊急事態宣言発令中」「など、視覚的にとらえることができ、注意喚起しやすい。チケットショップのアナウンスも、そういう効果を狙ったものかもしれない。しかし書き言葉のスタイルが話し言葉に持ち込まれているところが筆者が首を傾げる理由である。

この表現について、学生に聞いてみたところ、「なんとも思わない、不思議ではない」という回答が多かった。「10時到着、駅前のカフェで」「了解」などといった、LINEなどのショートメッセージでのコミュニケーションに慣れた学生には、何ら不思議には映らないのである。ところが、年配者に聞いてみると、「なんだそれ?」と失笑をかった。

そういえば、店から聞こえてくる店員さんのアナウンスも、若い感じがする。

「○○駅までの切符は、店内で販売しています。数量には限りがあります。店内でお買い求めください。」というのは長ったらしくて、面倒なのだろうか。

テレビやラジオなどのニュースでは、情報を正確に伝えなければならぬため、「避難情報発令、直ちに避難」「△△は通行止め、一般道へ迂回」では、せっかくなの情報を聞き逃してしまふ。やはり音声コミュニケーションには、それなりの長ったらしさで面倒くささも必要なようである。本文発信中、直ちに読破、感想をどうぞ。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

先生たちのリレーエッセイ 西垣 紀子さん

日本語教師(日本語ボランティア)との出会い

20代前半、当時会社員だった私は何かかえたいと思っていたところ、海外青年協力隊の広告が目に入り飛んで来て応募しました。その時初めて日本語教師という職業があることを知り、国語教師の資格を持っていた私はこれならいけるかなと何の勉強もしないまま本番に臨み愕然としました。今でも忘れられないのが、「い形容詞とな形容詞を使って説明しなさい。」という一文で、何だこれは?と思いました。まったくわからないまま試験を終え、当然不合格。当時付き合っていた、後の夫となる彼は合格してバヌアツ共和国へと行ってしまいました。どうにもおさまりがつかなかった私は、次にカナダの小学校へ日本文化の紹介というボランティア活動に参加したのでした。そこで、初めて日本文化とは?日本の生活とは?日本語とは?と自国を知るきっかけを得ました。

折り紙を一緒に折ったり、着物を着てみせたり、お茶をたててみたり、習字やそろばんを教えたり、日本の小学校の生活をスライドにして紹介したりしました。小学生に簡単なゲームを日本語で教えることはとても楽しく、逆に彼らからは英語の特訓を受けたものでした。容赦ない早口の英語を浴びせられ、「あなたの英語はわからない」とスパッといわれ…。でも、言葉はそうやっているうちに習得していくものだとも思いました。



2年生と習字の時間

不思議なめぐりあわせで、コロナ禍に陥る直前、話したわけでもないのに三男が同じようなプログラムでアメリカのユタ州の小学校に派遣されました。ちなみに彼は日本語の授業を一コマさせてもらえて、擬音語擬態語を紹介して評判が良かったそうです。またカナダからの帰国途中に彼の派遣先のバヌアツに寄り、そこで日本語教師をされている方を紹介してもらって教室に遊びに行きました。彼女は、沢山の手作り教材を見せてくれ、「これを作っているときが一番楽しいのよね。」とニコニコ話してくれました。この経験が後に日本語教師の資格を取ろうと思うきっかけになりました。



折り紙を折っていると集まってきました。

その後、帰国した彼と家庭を持ち長男が生まれる前後、本格的に日本語教師の勉強をするため、アルクの通信教育で420時間の学習に挑戦しました。

子育ての合間をぬっての勉強では1年という期限は短く、結局延長を申請して2年かけてやっと終了しました。次男誕生直前で、駆け込み終了論文でやっと終わられました。

その後、フィリピン、アメリカと海外での子育てに追われましたが、帰国後実家で生活している間(愛媛県新居浜市)、にいとはま日本語の会というボランティア団体に所属し、子連れで研修を受けた後約1年間日本語学習のお手伝いをしました。

17年前、草津に引っ越してきたときKIFAを通じてオリーブの会を知ったのですが、当時は子育てに追われ夜の学習会は難しく問い合わせたものの参加はできませんでした。

今回、夫が日本語教師の資格を取ったことがきっかけで、再び日本語ボランティアに参加させていただけることになりました。

かつて、はじめて中国人の技能実習生のクラスを持った時に「食べます」の導入でロールパンをパクッと食べてみせ、後でクラスを見学して下さっていた指導者の方に「本当に食べた人は初めてです。」と笑われましたが、あの時の緊張感と楽しかったことは今でもよく覚えています。

17年ぶりに教材やら資料やら広げて、茶色くなった紙や時代遅れの絵カードに時の流れを感じています。それでも、久しぶりに日本語学習者の方と一緒に学ぶことが嬉しくてワクワクどきどきの毎週土曜日です。

20年前の三兄弟

今、平日は保育園や公文教室で子ども達を相手に身体と頭と心をつかっています。

息子たちは27才、25才、22才と成長し家を離れて生活しているので、園や教室の子ども達とのかかわりを楽しんでいます。



余談ですが、次男と三男はオリーブの杉山先生の教え子です。次男は大阪で「とくいち」というトリオで芸人をしています。いつか名が知れることがあればよろしくお願ひします。



美味しい台湾料理

守山にある台湾料理のお店です。安くておいしい！お持ち帰りも可能です。

この日は4人で7,8品食べましたかね。お店の方もお客様も中国語で話されていて、店内には台湾のテレビが流れている。

手っ取り早く海外妄想旅行ができる空間です。デザートにはなんと手作りの豆花がありました。昨今、ブームになっていて大阪とかには専門店も出てますね。のどかな滋賀で食せるとは思ってなかったからとっても嬉しい。

心も満たされる「秋吟」にお越しあれ。



秋吟

守山市勝部5丁目3-37 電話 077-598-0165
定休日 月 火





先月の活動（10月）



今月の予定（11月）



日本語教室

10/1 10/15 10/22 10/29(M)

日本語教室

11/5 11/12 11/19

11/1 第二回外国人支援団体の集まり(恩地)

11/20 オリーブ遠足



参加人数(10月)

	10/1	10/15	10/22	10/29
生徒	21	27	32	33
先生	24	24	25	23

10月の最終日にはフクイ先生謹製の
楽しいハロウィンのお菓子つき♪



会員の動き

〈退会〉 無し

〈入会〉 横山 綾香

〈休会〉 無し



新しい先生です



横山 綾香

日本語ボランティア養成講座に行ってきました！

10月9日から始まった「日本語ボランティア養成講座」に参加してきました。

この日から3日に分けて講座があります。
午前・午後みっちり。

講師の澤田幸子先生のお話は面白く、参加されている方々の熱意にも刺激を受けました。

個人的には「みんなの日本語」をどうやって授業で使うか、を実践していただいたことが良かったです。

教授法は生徒によりけりで一律な正解はないですね。

生徒さんが何を目標に日本語を勉強しているのか、を考えつつ、残りの講座も受けてきます！

楽しみです～。

ナカミゾ

日本語を本格的に教えた経験はないのですが、外国人の方と交流するのがとても好きなので、一生懸命頑張ります。
外国人の方々のお役に立てたらな、と思います。よろしく願いいたします。



編集後記

秋なのか？ 金木犀が香ったかと思いきや、もう風が冷たい。すでに冬みたい。

そろそろ今年の振り返りをしてみると、自分のなまけ癖にあきれております。

追い込まないと動かない性格。今年は町内会行事で毎月草むしりをしてました。で、草むしりってすごく性格が出ますね。私はざく～ざく～と草を刈る。面積広く草は短くなるが、一週間後にはまた伸びてそうになってます。丁寧に草むしりされている方は、面積小さいが地面がきれい。。。

残り少ない年内に この THE ZUBORA を改善しよう。今年目標です。

ナカミゾ

